



学校だより

横浜市立六つ川台小学校

平成28年4月28日

5月号

ホームページアドレス <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/mutsukawadai/>

一生懸命になること

学校長 柳澤 潤

はじめに、このたびの熊本県・大分県で起こった大地震により、被災された全ての皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

熊本県では、小中高校や幼稚園などのうち55校が授業を再開。しかし県内全体609校のうち、6割超に当たる391校で依然休校が続いているとのこと（4月26日現在）。地震が教育現場にも深刻な影響を与えています。まずは、どの人も苦しみに押しつぶされず、少しでも前に進み、どうぞ負けないでください、と願っています。

六つ川台小では4月18日の朝会が、1年生から6年生まで初めて全員で参加する朝会でした。「はじめてなのに、ちゃんと並べるかなあ」との心配をよそに、1年生はきちんと並び、静かにしっかり話を聞くことができました。この日までは、1年生は朝会には参加せず、朝の時間を教室で担任の先生と過ごしていました。朝一番にすることは、ランドセルを下ろし、学習の道具を出して整えることです。連絡帳や提出物を先生の机に出したり、体育着や給食の白衣を掛けたりもします。はじめのうちは、6年生のお兄さんお姉さんが1年生の教室に入り、1年生のみんなは手助けをしてもらっていました。教える6年生も、教わる1年生も一生懸命。一つ一つのことをていねいに教えてもらい、だんだんと自分でできるようになりました。6年生はその他に、給食のお手伝いなどでも1年生の教室に入っています。担任の先生からは話を聞く姿勢など、分かりやすく教えていただいたのでしょう。列がまっすぐで、どの顔もこちらをしっかりと向いて話を聞いていました。返事もとても大きな声です。初めての全員参加の朝会は、学校のよいスタートになりました。

私は体育館で行った朝会で、次のような話をしました。「突然の地震が何度も起こる中で、学校体育館に避難し、何日も眠れない夜を過ごしている人がいます。つらい思いをしています。でも、みんな生きること一生懸命です。こんなとき、ぼくたち私たちはどうすることが大切でしょうか。わたしは、毎日の生活をこう考えます。元気に過ごすことです。みんなと仲良く過ごすことです。一生懸命勉強することです。そして、うんと勉強して困っている人をいつでも助けることができるよう、力を付けることです。これが大切な生き方だと思います」と話しました。今は、みんなが一生懸命になることが大事だと思うのです。どうしても伝えたい思いを朝会で話しました。

さて、台小は5月28日実施の運動会に向けて準備が始まっています。今年度は、単級の学年だけでなく、どのクラスもクラス内を赤組白組の2グループに分けました。リレーの選手はクラスの選抜ではなく、学年で徒競走のタイムを計り、タイムに基づいて学年代表を決めました。代表委員会ではスローガンが「笑顔で、楽しく思い出に残る運動会」と決まりました。「楽しく」の言葉には、「みんなで精一杯全力でやる」との意味を込めています。また、応援グッズは各学年で相談して決めることになりました。全校での赤組白組対決の様子も、例年と違ってきそうです。赤組白組マスコットの選考も始まります。応援合戦にも熱が入る、元気な運動会になりそうです。

今月も地域・保護者の皆様の力強い応援を、どうぞよろしくお願いします。